

青森県経済統計報告

平成 20 年 12 月 5 日
企画政策部統計分析課

1 青森県の推計人口（平成 20 年 1 月 1 日現在）…………… 1

県人口	1,394,366 人（対前月 440 人 減少）
自然動態	440 人減少（出生者数 875 人、死亡者数 1,315 人）
社会動態	増減なし（転入者数 1,738 人、転出者数 1,738 人）

2 本県の経済動向

（1）経済概況

本県経済は、全体として弱めの動きになっている。

（2）主要経済指標の動向

- (2-1) 製造業の 平成 20 年 9 月の青森県鉱工業生産指数(平成 17 年=100)は、季節調整済 …… 2
生産動向 指数が 106.9 で、前月比 2.0%の低下となり、2ヶ月ぶりに前月を下回った。また、原指数は 109.6 で、前年同月比 0.8%の上昇となり、3ヶ月ぶりに前年同月を上回った。
- (2-2) 雇用情勢 平成 20 年 9 月の定期給与は 224,644 円で前年同月比 0.8%増となった。 …… 3
総実労働時間は 154.6 時間で前年同月比 0.2%減、所定外労働時間は 9.0 時間で前年同月比 3.2%減となった。
平成 20 年 10 月の有効求人倍率(季節調整値)は 0.36 倍で、前月比 0.04 ポイント下回った。
- (2-3) 物価 平成 20 年 10 月の青森市消費者物価指数(平成 17 年=100)は、総合指数 …… 4
が 103.1 となり、前月と比べ 0.5%の下落、前年同月と比べ 2.8%の上昇となった。
- (2-4) 個人消費 平成 20 年 9 月の大型小売店販売額は、全店舗ベースが 129 億 6 千万円で …… 5
前年同月比 0.4%増と 3ヶ月連続で増加したものの、既存店ベースでは 3.4%減と 2ヶ月連続で減少となった。
平成 20 年 10 月の軽自動車を含めた乗用車新車登録・届出台数は 3,376 台で、前年同月比 4.2%の減となり、3ヶ月連続で前年を下回った。
- (2-5) 住宅建設 平成 20 年 10 月の新設住宅着工戸数は 682 戸で、前年同月比 52.2%増と …… 6
なり、2ヶ月ぶりに前年を上回った。
- (2-6) 電力 平成 20 年 10 月の大口電力使用量は 2 億 3,908 万 kWh で、前年同月比 8.8% …… 6
使用量 増となり、5ヶ月連続で前年を上回った。

（3）景気動向指数（平成 20 年 9 月分）…………… 7

先行指数	22.2%（7か月連続で50%を下回った）
一致指数	22.2%（5か月連続で50%を下回った）
遅行指数	33.3%（2か月連続で50%を下回った）

1 青森県の推計人口(平成20年11月1日現在)

【概況】

平成20年11月1日現在の本県推計人口は、1,394,366人で、前月に比べ440人の減少となった。

○自然動態

出生者数が875人、死亡者数が1,315人で、440人の減少となった。

○社会動態

転入者数が1,738人、転出者数が1,738人で、増減がなかった。

総人口の推移

(単位:人)

	総数	対前月増減率		増減数	自然増減数	社会増減数		県外からの転入者数	県外への転出者数
		男	女			出生者数	死亡者数		
昭45.10.1	1,427,520	685,477	742,043	-	10,929	-	-	-	-
50.10.1	1,468,646	707,232	761,414	-	41,126	-	-	-	-
55.10.1	1,523,907	735,444	788,463	-	55,261	-	-	-	-
60.10.1	1,524,448	731,439	793,009	-	541	-	-	-	-
平2.10.1	1,482,873	704,758	778,115	-	-41,575	-	-	-	-
7.10.1	1,481,663	704,189	777,474	-	-1,210	-	-	-	-
12.10.1	1,475,728	702,573	773,155	-	-5,935	-	-	-	-
17.10.1	1,436,657	679,077	757,580	-	-39,071	-	-	-	-
19.11.1	1,408,039	663,193	744,846	-0.039%	-550	-321	982	1,303	-229
19.12.1	1,407,522	662,925	744,597	-0.037%	-517	-420	826	1,246	-97
20.1.1	1,406,738	662,556	744,182	-0.056%	-784	-534	769	1,303	-250
20.2.1	1,405,587	661,894	743,693	-0.082%	-1,151	-691	838	1,529	-460
20.3.1	1,404,462	661,311	743,151	-0.080%	-1,125	-512	795	1,307	-613
20.4.1	1,398,130	657,775	740,355	-0.451%	-6,332	-483	844	1,327	-5,849
20.5.1	1,397,463	657,462	740,001	-0.048%	-667	-531	818	1,349	-136
20.6.1	1,396,659	656,939	739,720	-0.058%	-804	-272	936	1,208	-532
20.7.1	1,395,953	656,474	739,479	-0.051%	-706	-357	862	1,219	-349
20.8.1	1,395,716	656,395	739,321	-0.017%	-237	-267	895	1,162	30
20.9.1	1,395,208	656,115	739,093	-0.036%	-508	-271	858	1,129	-237
20.10.1	1,394,806	655,857	738,949	-0.029%	-402	-262	905	1,167	-140
20.11.1	1,394,366	655,555	738,811	-0.032%	-440	-440	875	1,315	0

10月中の人口動態の推移

(単位:人)

年月		平10.10	11.10	12.10	13.10	14.10	15.10	16.10	17.10	18.10	19.10	20.10
自然動態	出生者数	1,093	1,034	1,169	1,233	1,160	1,037	911	931	946	982	875
	死亡者数	1,021	1,002	1,086	1,178	1,123	1,090	1,169	1,190	1,205	1,303	1,315
	自然増減数	72	32	83	55	37	-53	-258	-259	-259	-321	-440
社会動態	県外からの転入者数	1,996	2,008	2,008	2,137	1,978	2,165	1,791	1,777	1,737	1,743	1,738
	県外への転出者数	1,672	1,635	1,675	1,833	1,989	1,990	1,746	1,861	2,038	1,972	1,738
	社会増減数	324	373	333	304	-11	175	45	-84	-301	-229	0

※1 昭和45、50、55、60、平成2、7、12、17年は国勢調査人口(確定値)。

※2 増減数は、昭和45、50、55、60、平成2、7、12、17年が前回国勢調査、その他が前月推計人口に対するものである。

※3 算出方法

県の推計人口=前月の人口+自然増減数(出生者数-死亡者数)+社会増減数(県外からの転入者数-県外への転出者数)

2 本県の経済動向

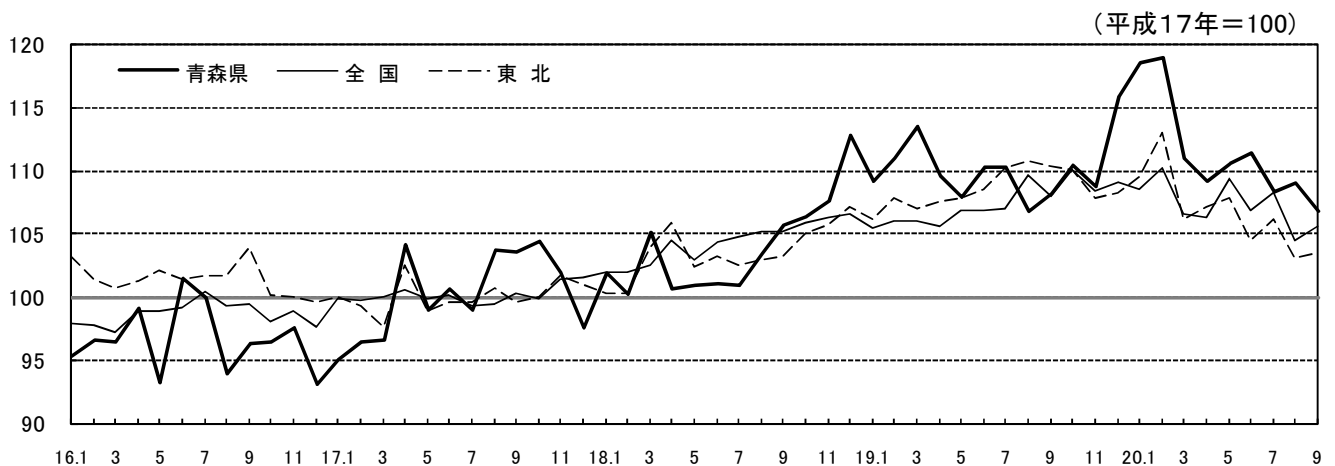
(2) 主要経済指標の動向

(2-1) 製造業の生産

平成20年9月の青森県鉱工業生産指数（平成17年=100）は、季節調整済指数が106.9で、前月比2.0%の低下となり、2ヶ月ぶりに前月を下回った。また、原指数は109.6で、前年同月比0.8%の上昇となり、3ヶ月ぶりに前年同月を上回った。

季節調整済指数で前月からの動きを見ると、一般機械工業、食料品工業、電子部品・デバイス工業などが上昇に寄与した一方、化学工業、パルプ・紙・紙加工品工業、電気機械工業などが低下し、鉱工業全体では2.0%の低下となった。

青森県・全国・東北の鉱工業生産指数推移（季節調整済指数）

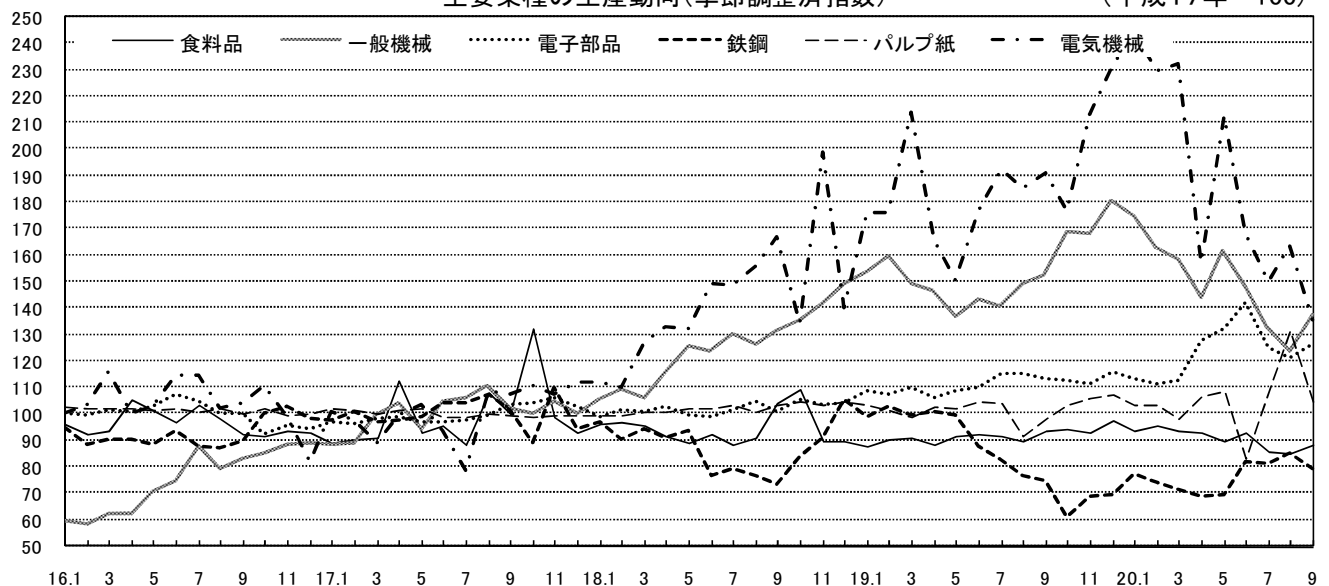


◎業種別動向（前月比） 鉱工業全体 -2.0%

プラス			マイナス		
業種	前月比(%)	寄与率(%)	業種	前月比(%)	寄与率(%)
一般機械工業	11.5	23.6	化学工業	-61.4	-54.6
食料品工業	3.9	9.8	パルプ・紙・紙加工品工業	-20.6	-29.0
電子部品・デバイス工業	4.0	7.2	電気機械工業	-17.3	-20.6
繊維工業	5.5	2.5	金属製品工業	-18.0	-18.8
プラスチック製品工業	12.6	1.9	鉄鋼業	-6.6	-7.5

主要業種の生産動向(季節調整済指数)

(平成17年=100)



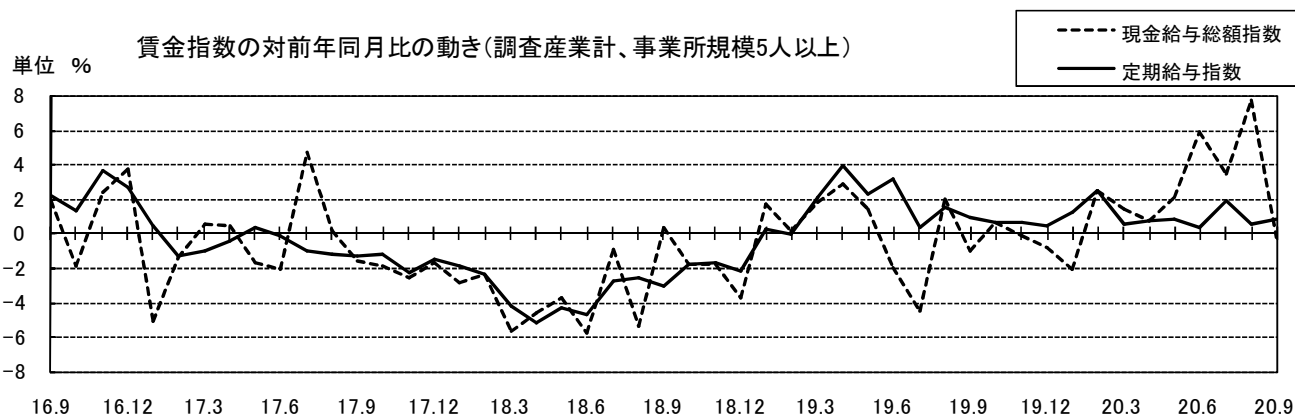
資料：県統計分析課「青森県鉱工業生産指数（速報）」

(2-2) 雇用情勢

平成20年9月の定期給与は224,644円で定期給与指数(平成17年=100)では97.6となり、前年同月比0.8%増(現金給与総額226,298円、現金給与総額指数83.0、前年同月比0.2%減)となった。実額で比較した定期給与の全国対比は83.3となった。

総実労働時間は154.6時間で、総実労働時間指数は97.0となり、前年同月比0.2%減となった。このうち、所定外労働時間は9.0時間で、所定外労働時間指数では90.9となり、前年同月比3.2%減となった。

平成20年10月の有効求人倍率(季節調整値)は0.36倍で、前月比0.04ポイント下回った。



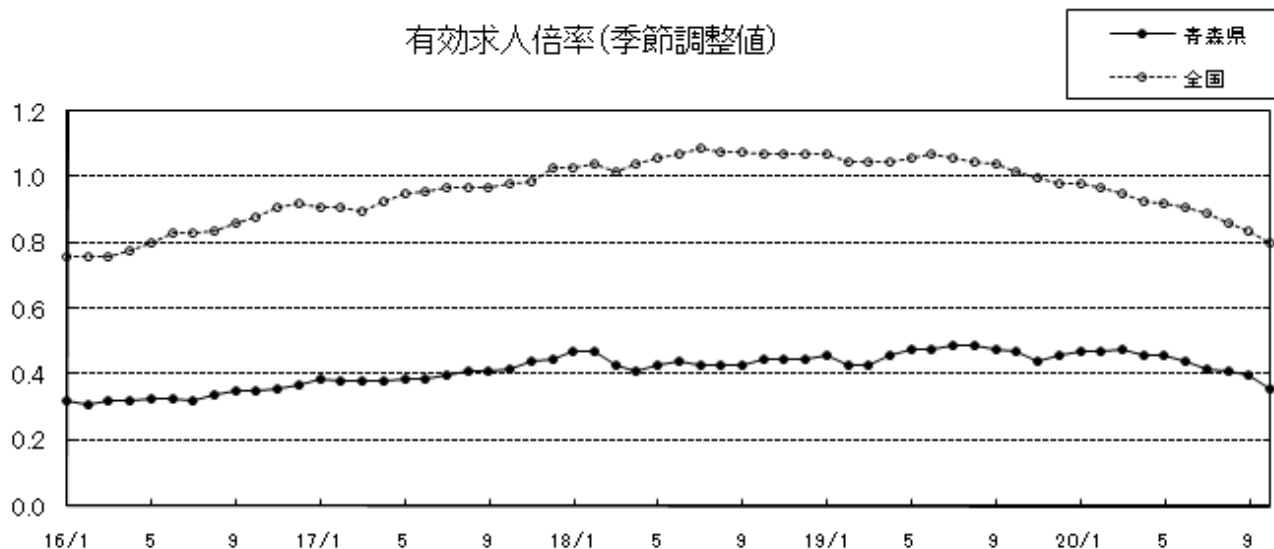
賃金及び労働時間の動き(調査産業計、事業所規模5人以上)

	実 数		指数(H17=100)		対前年同月増減率	
	県	全 国	県	全 国	県	全 国
現金給与総額	226,298 円	273,605 円	83.0	82.5	-0.2 %	0.2 %
定期給与	224,644 円	269,756 円	97.6	99.8	0.8 %	0.3 %
特別給与	1,654 円	3,849 円	—	—	—	—
総実労働時間	154.6 時間	148.8 時間	97.0	98.7	-0.2 %	0.2 %
所定内労働時間	145.6 時間	138.3 時間	97.5	98.7	0.1 %	0.3 %
所定外労働時間	9.0 時間	10.5 時間	90.9	99.1	-3.2 %	-2.7 %

(注)1.定期給与とは「きまって支給する給与」のことである。

2.前年同月比は指数によって算出している。

資料: 県統計分析課「毎月勤労統計調査結果(速報)」



資料: 青森労働局職業安定部職業安定課「職業安定業務取扱月報」

(2-3) 物価

平成20年10月の青森市消費者物価指数(平成17年=100)は、総合指数が103.1となり、前月と比べ0.5%の下落、前年同月と比べ2.8%の上昇となった。

生鮮食品を除く総合指数は103.0となり、前月と比べ0.8%の下落、前年同月と比べ2.9%の上昇となった。

食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は98.8となり、前月と同値で、前年同月と比べ0.5%の上昇となった。

総合指数が前月と比べ0.5%の下落となった内訳を寄与度でみると、光熱・水道、交通・通信などの下落が要因となっている。

総合指数の前年同月比が2.8%の上昇となった内訳を寄与度でみると、光熱・水道、食料などの上昇が要因となっている。

図1 総合指数の動き

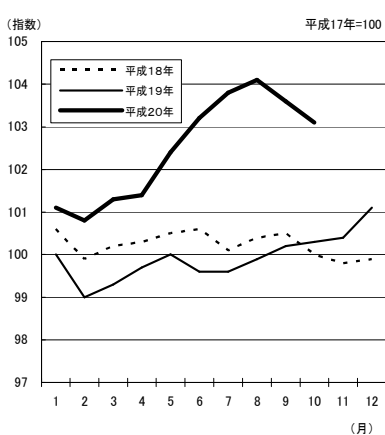


図2 生鮮食品を除く総合指数の動き

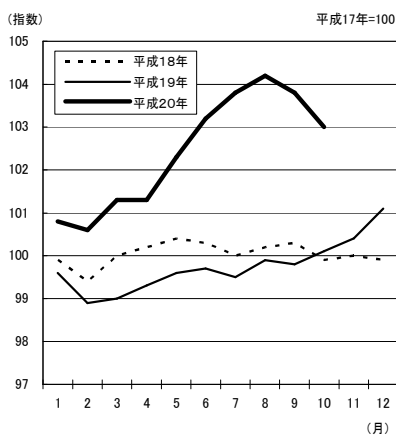
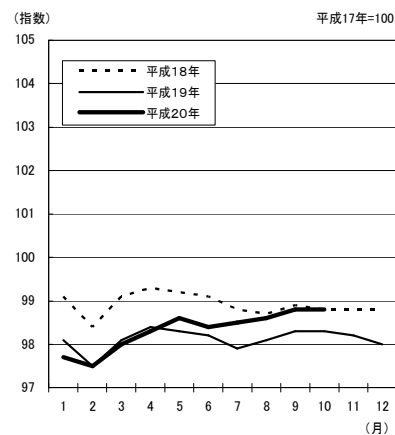


図3 食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数の動き



10大費目指数の動き

(平成17年=100)

	総合	生鮮食品を除く総合	持家・家賃を除く総合	食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合	食料	生鮮食品	住居	光熱・水道	家具・日用品	被服	服	保	健	交通・通信	教育	教	養	諸
	合	合	合	合	料	品	居	道	用	履	物	医	療	信	育	育	楽	雑
当月指数	103.1	103.0	103.9	98.8	103.2	104.1	99.3	122.3	97.8	102.5	98.8	104.8	101.7	94.4	102.1			
前月比(%)	▲0.5	▲0.8	▲0.6	0.0	0.9	4.3	▲0.3	▲4.7	0.9	1.8	▲0.3	▲1.3	0.0	▲0.7	0.4			
寄与度	▲0.48	▲0.73	▲0.49	0.00	0.25	0.23	▲0.06	▲0.58	0.03	0.07	▲0.01	▲0.15	0.00	▲0.07	0.02			
前年同月比(%)	2.8	2.9	3.4	0.5	3.4	0.8	0.1	12.0	4.0	1.0	▲0.5	3.9	0.5	▲1.3	1.2			
寄与度	2.79	2.73	2.85	0.32	0.97	0.05	0.02	1.30	0.12	0.04	▲0.02	0.42	0.02	▲0.12	0.07			

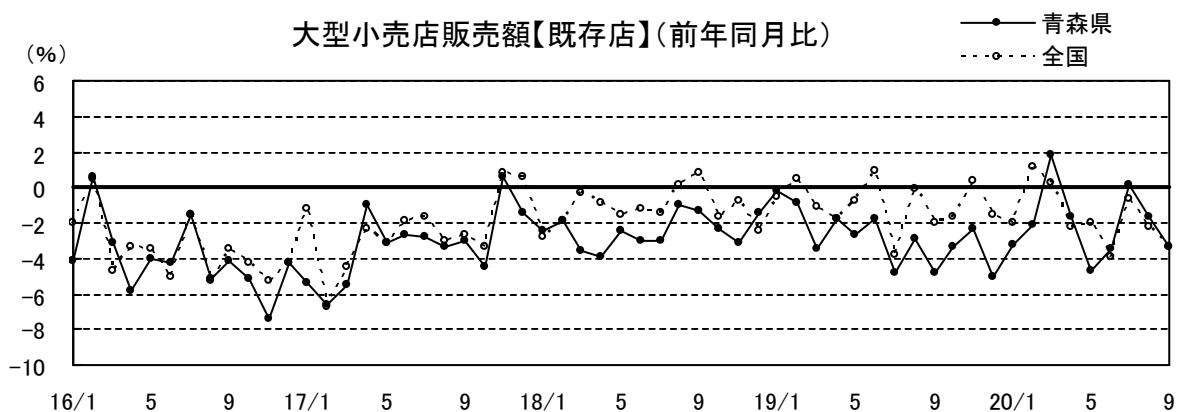
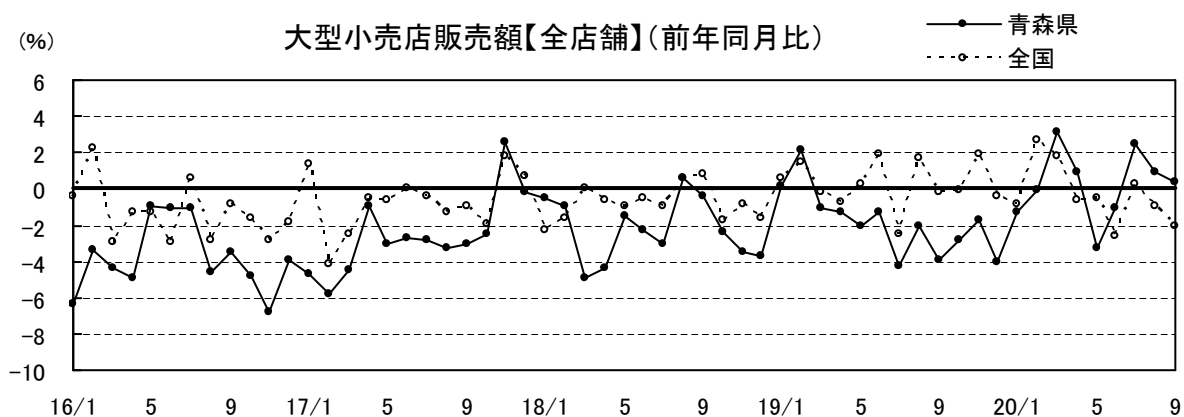
資料：県統計分析課「消費者物価指数月報」

※ 寄与度とは、ある費目の指数の変動が、総合指数の変化率のうち何ポイント寄与したかを示したものであり、全費目の寄与度を合計すると、総合指数の変化率に一致する。

(2-4) 個人消費

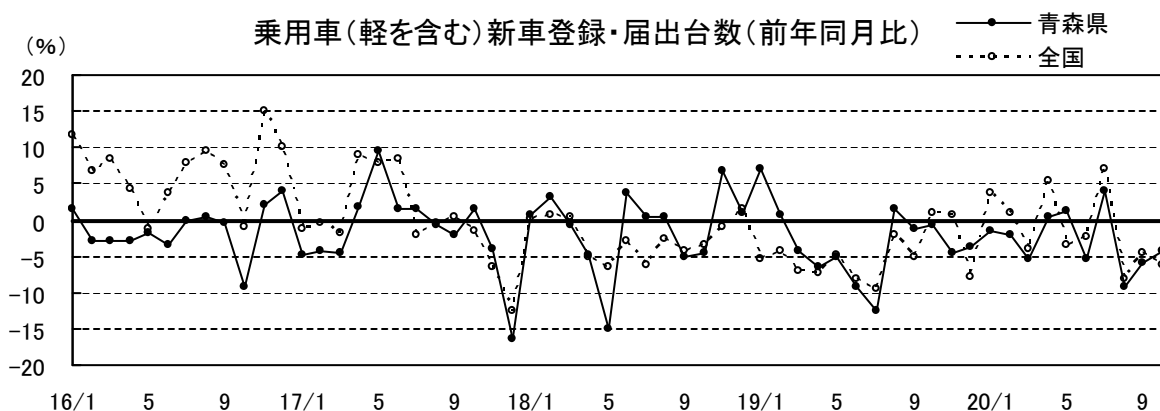
平成20年9月の大型小売店販売額は、全店舗ベースが129億6千万円で前年同月比0.4%増と3ヶ月連続で増加したものの、既存店ベースでは3.4%減と2ヶ月連続で減少となった。百貨店は衣料品が全般的に伸び悩んだことから、24ヶ月連続で、スーパーは鮮魚等が振るわなかったことから、2ヶ月連続で前年を下回った。

平成20年10月の軽自動車を含めた乗用車新車登録・届出台数は3,376台で、前年同月比4.2%の減となり、3ヶ月連続で前年を下回った。小型車が増加したものの、普通車、軽自動車が増加したことによる。



資料：東北経済産業局「東北地域大型小売店販売額動向」

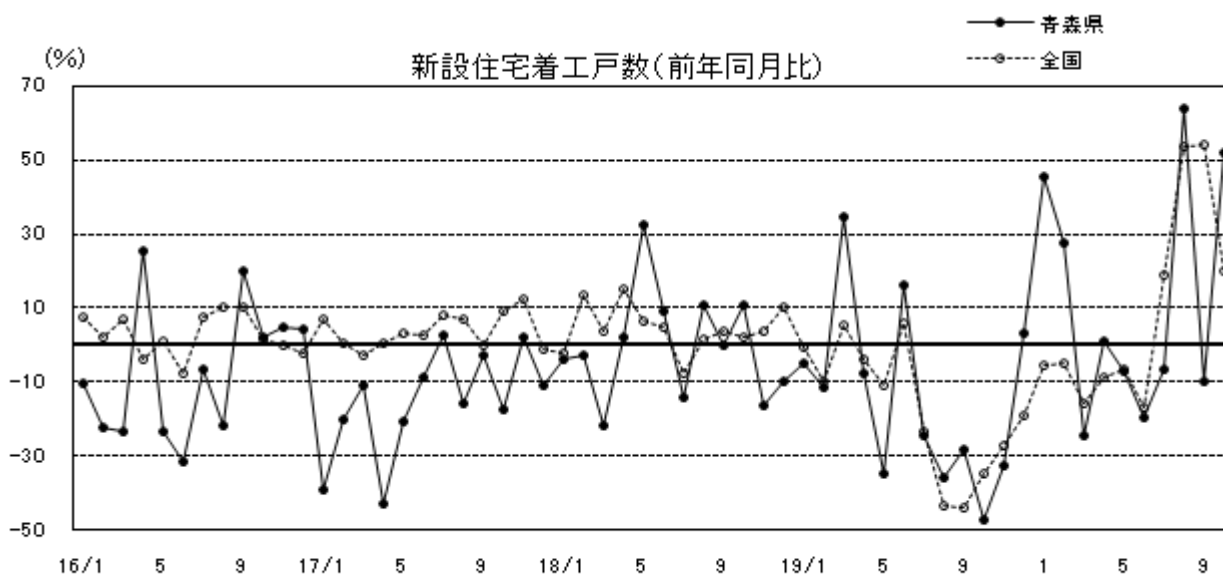
* 大型小売店は従業員が50人以上で売場面積が1,500平方メートル以上の商店をいう。そのうち、既存店とは、当月及び前年同月とも調査の対象となっている商店をいう。



資料：青森県自動車会議所「車種別登録・届出台数」、日本自動車販売協会連合会「自動車統計データ」

(2-5) 住宅建設

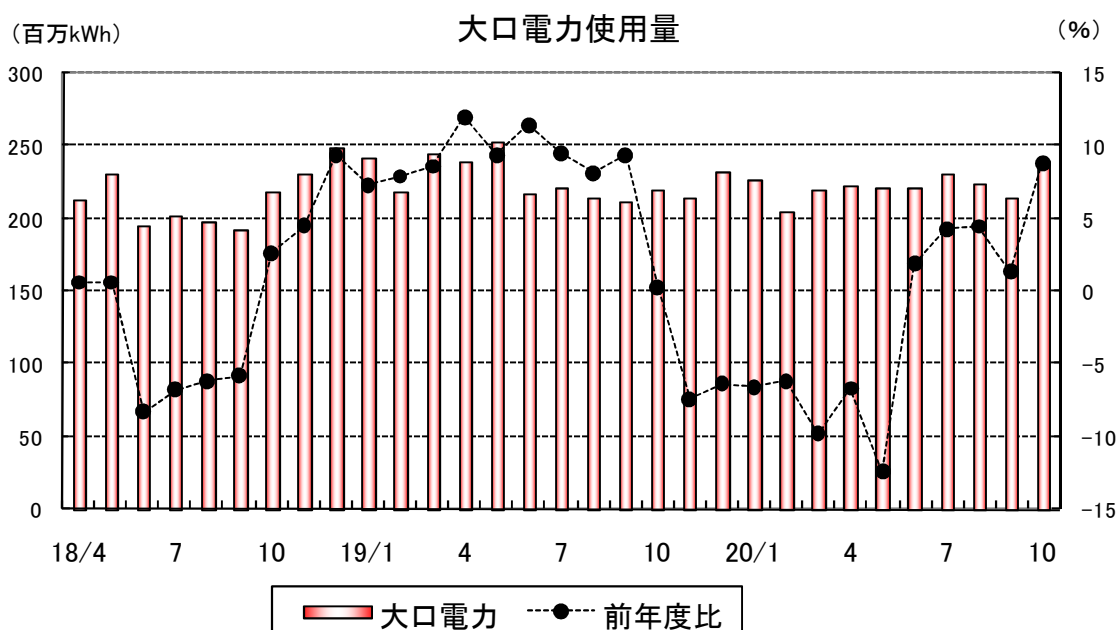
平成20年10月の新設住宅着工戸数は682戸で、前年同月比52.2%増となり、2ヶ月ぶりに前年を上回った。持家、貸家、分譲がいずれも増加したことによる。



資料：県建築住宅課「建築着工統計」、国土交通省「建設統計月報」

(2-6) 電力使用量

平成20年10月の大口電力使用量は2億3,908万kWhで、前年同月比8.8%増となり、5ヶ月連続で前年を上回った。「鉄鋼」などが稼働増となったことによる。



資料：東北電力(株)青森支店「電力需要実績」

(3) 青森県景気動向指数

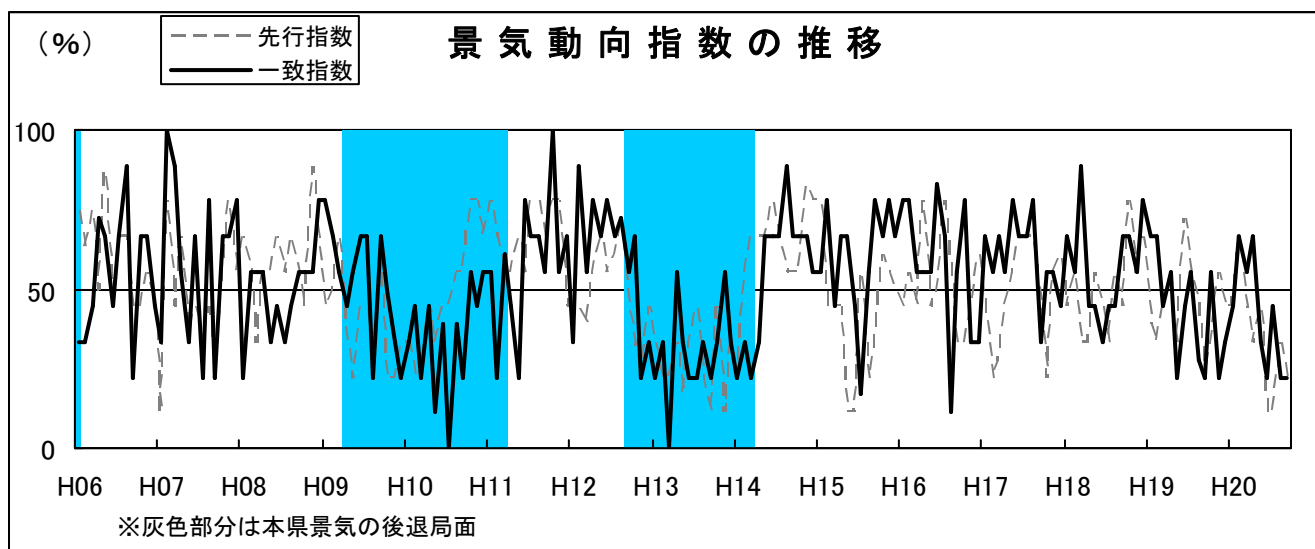
平成20年9月の青森県景気動向指数は、先行指数22.2%、一致指数22.2%、遅行指数33.3%となった。

先行指数は、7か月連続で50%を下回った。

一致指数は、5か月連続で50%を下回った。

遅行指数は、2か月連続で50%を下回った。

9月の一致指数は、生産、運輸、労働関連等の指標がマイナスとなったことから、50%を下回った。



●個別系列の動き (各指標は季節調整等を行い、5ヶ月前と比較しています)

プラスの指標		マイナスの指標	
先行系列 (9指標中2指標がプラス)			
建築着工床面積	3か月ぶり	乗用車新車登録届出台数	2か月連続
企業倒産負債額	4か月ぶり	生産財生産指数	2か月ぶり
		新規求人倍率 (全数)	6か月連続
		所定外労働時間指数	5か月連続
		入職率 (製造業)	2か月ぶり
		新設住宅着工床面積	2か月ぶり
		中小企業景況DI	11か月連続
一致系列 (9指標中2指標がプラス)			
大口電力使用量	4か月連続	大型小売店販売額 (既存店)	2か月連続
日銀券月中発行高	2か月ぶり	鉱工業生産指数	5か月連続
		電気機械生産指数	6か月連続
		有効求人数 (全数)	11か月連続
		総実労働時間数 (全産業)	2か月ぶり
		海上出入貨物量 (八戸港)	2か月連続
		東北自動車道IC利用台数	5か月連続
遅行系列 (6指標中2指標がプラス)			
勤労者世帯家計消費支出 (実質)	4か月ぶり	常用雇用指数 (製造業)	13か月連続
青森市消費者物価指数 (帰属家賃除く)	12か月連続	1人平均月間現金給与総額	4か月連続
		単位労働コスト (製造業)	2か月連続
		輸入通関実績 (八戸港)	5か月ぶり

資料：県統計分析課「青森県景気動向指数月報」